

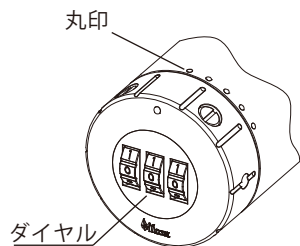
ダイヤルロックハンドル 取扱説明書

この度は「盗水防止水栓」シリーズをご購入いただきまして誠にありがとうございます。
本製品は、水栓の利用者を限定する「共用栓」としての便利さと防犯向上を意図した商品ですが、盗水防止に絶対的な錠ではございません。事故、犯罪、トラブル等が発生いたしましても当社は一切の補償、弁償等を行いません。ご理解頂きますようお願いいたします。

対応品番

- AT241 (ミズロック横水栓2.0)
- G24AS (AT式スプリンクル2.0)
- AT242 (ミズロック万能水栓2.0)
- G24RS (AT式スプリンクル3D2.0)
- AT243 (ミズロック二口万能水栓2.0)
- G24K-AT (AT式ホース接続回転水栓2.0)
- G24K-AT3D (AT式ホース接続回転水栓3D2.0)

ハンドル操作方法



- 本製品には、ハンドルと水栓本体それぞれに、ロック位置を示す「丸印」が刻印されています。互いの「丸印」の位置を合わせることで、ダイヤルを回すことができます。
- ダイヤルを暗証番号に合わせると、ハンドルを回すことができます。暗証番号以外の場合は、ハンドルを回すことができません。
- 経年による止水位置の変化に対応するため、本製品の「丸印」を5ヶ所設けています。

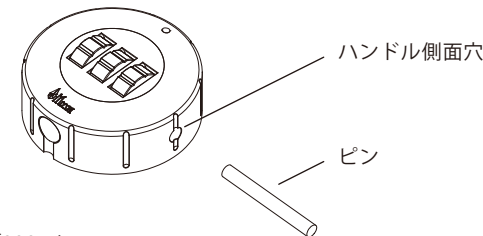
注意

- 止水時は、必ず暗証番号以外の番号に変えてください。
暗証番号のまま止水していると第三者に番号が分かり、不正解錠の原因や、いたずらで暗証番号を変更され解錠できなくなる恐れがあります。
- 暗証番号は出荷時「000」で設定されております。
商品到着後、「暗証番号設定方法」の手順に従って任意の暗証番号を設定してください。
また、設定した暗証番号はお客様の責任において忘れないよう管理してください。
- ダイヤルは定期的に回転させてください。(週に一度を目安)
雨水などに含まれる成分が固着し、ダイヤルが回転しづらくなる場合があります。
市販の潤滑油を注入するのも効果的です。
- 暗証番号忘れによって解錠できない場合等の
解錠に要する暗証番号の問い合わせにはお答えできません。
- 解錠できなくなった場合は本製品の交換対応(有償)となります。

暗証番号設定方法

※暗証番号の設定は必ず施工前に行ってください。

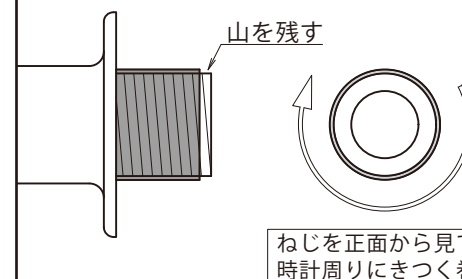
輸送トラブル等によりダイヤル部が破損し暗証番号の設定ができなくなっている場合、施工前であれば交換が可能です。



- ①現在の暗証番号に合わせます。(出荷時は「000」)
- ②φ2mm以下のピン(安全ピン等)を用意し、ハンドル側面の穴に10mm程挿し込んでください。
- ③ピンを挿し込んだまま、ダイヤルを回して暗証番号を合わせます。
ピンを抜くと暗証番号の設定は完了です。
- ④設定した暗証番号は、忘れないよう下欄に記載するなどし、大切に保管してください。

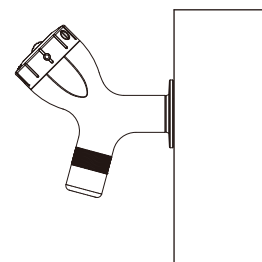
暗証番号記録欄

水栓取付け方法



- 水栓のねじにシールテープを巻きつけます。テープは、管端面からはみ出さないよう山を1~2山残した状態で、テープがたるまないよう巻きつけます。
- 管端からはみ出して巻きつけるとテープが切れて管内のゴミとなり水漏れの原因となります。

施工の注意



各部から水漏れが無いかどうか、確認をお願いします。

- 施工時には、切粉、シールテープの切れ端などの異物を配管内に混入させないようお願いします。
- 取付けねじは必要以上に回すと破損する恐れがあります。
- 施工後には、必ず『フラッシング』(配管内のゴミを流すために、約30~60秒程度の間、勢い良く水を流す処理)を行って下さい。
- 海沿いの地域では空気中の塩分に反応しステンレス製部品が腐食する可能性があります。
市販のサビ防止剤をダイヤル錠内部に注入するなど予防をしていただきますようお願いいたします。